



建学の精神

キリスト教精神に基づく愛と奉仕の実践による教育。



静岡英和女学院 校章・マーク
楓の葉 Maple Leaf は、カナダを象徴するものです。三英和共通の校章で、中央にそれぞれの学校の頭文字が入っています。

学校法人 静岡英和女学院

〒420-0866 静岡県静岡市葵区西草深町8-1

TEL：054-253-5240 FAX：054-251-4720



創立

日本メソヂスト静岡教会(現・静岡教会)牧師の平岩愼保は、1884年(明治17)に誕生したばかりの東洋英和女学校が、開校わずか1年で生徒が2倍になったことに励まされ、静岡にも女学校をつくりたいと願いました。

静岡の有力者の協力を得るために、県令の後押しが何よりも力になると考え、静岡県令 関口隆吉に東洋英和女学校の見学に来てくれるように説きました。ところが、平岩の案内で東洋英和女学校を訪れた関口は、驚くべき光景を目にしました。自分の娘が、そこにいたからです。関口は、娘のますが東京の学校で英語を学んでいることは承知していましたが、東洋英和女学校にいたことは知らなかったのです。

こうした偶然が幸いして、関口は積極的に協力してくれました。出資者が次々と現われ、校主、商議員などの役員もトントン拍子で決まっていきました。

江戸幕府最後の将軍 徳川慶喜は、1868年(明治元)7月に水戸から府中(現・静岡市)へ移送されました。また、駿府藩主(静岡藩主)として、徳川家の家督相続を許された徳川家達もやって来ました。この新しい藩は、軍隊を持つことが許されなかったため、文化・教育に力を注ぐことで自立の道を求めました。そのために設置した教育機関の一つが静岡学問所です。

1871年(明治4)キリシタン禁制の高札が撤去される以前の時代、しかも静岡という地方都市に、一人のアメリカ人がやって来ました。静岡学問所に化学の教師として招かれたエドワード・ワーレン・クラークです。静岡へのキリスト教伝道は、最初にクラークによって始められ、のちにカナダ・メソジスト教会によって推進され、〈静岡バンド〉と呼ばれる活動体となっていきました。

宣教師のデビッドソン・マクドナルド宣教師によって、静岡市で最初の教会である日本メソヂスト静岡教会が設立され、静岡に着任して5カ月後には、早くも11名の受洗者を得ました。マクドナルドと一緒に来日したジョージ・コクランは東京を拠点に伝道し、静岡女学校の創立者となった平岩をキリスト教信仰に導きました。

創立の背景と歴史

静岡でキリスト教伝道が行なわれるきっかけとなった静岡学問所では、漢学・国学以外に、洋学の教育が計画され、英語やフランス語なども教えていました。

クラークが静岡に来たのは、福井県の教師に招聘が決まっていた友人グリフィスのもとに、勝海舟からの依頼状を持って静岡の役人が訪れたことがきっかけです。それに応えて海を渡ったクラークを、勝は喜んで迎えました。静岡学問所からは儒学者 中村正直及び、藩の役人が迎えに来ました。しかし、雇用契約書の中に「3年の期間中、宗教的問題につき沈黙を守る」の一条があり、承服しかねるクラークはこの条項の削除を日本政府に主張し、遂に削除させました。これには勝や岩倉具視の尽力も大きかったといえます。

翌年、静岡学問所は政府の方針で廃止されることとなり、その建物は賤機舎と呼ばれる私立英語学校に引き継がれました。クラークは在職2年で静岡を去り、東京へ行って開成学校(現在の東京大学の前身機関の一つ)の化学教師となりましたが、1874年(明治7)代わりにデビッドソン・マクドナルド宣教師が赴任してきました。

マクドナルドは、カナダ・メソジスト教会から送り出された最初の宣教師で、一緒に来日したジョージ・コクランは東京を、マクドナルドは静岡を拠点として伝道しました。カナダ・メソジスト教会は、東京と静岡、そして山梨にそれぞれ女学校〈三英和〉をつくっています。

静岡英和女学校を創立した平岩愼保は、1857年(安政3)平岩馨明の長男として、江戸・小石川に生まれました。父 馨明は、三代続いたキリシタン宗門改役の幕臣でした。

1870年(明治3)市ヶ谷小学校教員となり、翌年には官費生として東京府立洋学校で、翌々年には開成学校に入学、理化学を学びました。在学中、コクランから影響を受けて入信し、1875年(明治8)洗礼を受けています。翌年、献身を決意して開成学校を退学。同年メソジストの教職試験に選任されました。1877年(明治10)コクランの跡を継いだ宣教師 C・S・イビーが来日すると、ただちに有能な通訳者として山梨伝道に随行しています。

1878年(明治11)開拓伝道で牛込教会(現・頌栄教会)を興し、1882年(明治15)には甲府教会に赴任、次いで静岡で牧会をして、山路愛山、高木壬太郎らを信仰に導きました。のちに麻布、駒込、本郷中央会堂などの牧師を歴任しています。

1884年(明治17)平岩は、東洋英和女学校の創立にも尽力。1887年(明治20)には静岡女学校(のちの静岡英和女学院)を創設しました。

按手礼を受け、カナダ・メソジスト教会の最初の日本人牧師の一人になり、代表として、メソジスト三派の合同に尽力しました。合同後は、日本メソジスト教会の指導者となって、1912年(大正元)には亡くなった本多庸一の跡を継いで、第2代監督に就任しました。

1920年(大正9)排日運動の激しいアメリカに渡り、日本の立場を遊説して、日米の架け橋となろうと尽力しました。



創立者 平岩愼保(1857～1933年)
日本メソジスト教会の第2代監督に就きました。

